



# しののめだより

令和5年度第20号

令和6年3月18日発行

富士東高校情報交換ひろば

前号、前々号では、「しののめ探究成果発表会」の発表内容を学年ごとに紹介しました。当日は、静岡県立大学STAFFのみなさんにもお越しいただき、第3部では講評をいただいています。今号は講評の内容と、生徒の振り返りをまとめました。1年生は次の探究へ、2年生は進路実現に向けて、それぞれのステップアップに今年度の経験が生かされることを願っています。



## 「しののめ探究成果発表会」静岡県立大学STAFFのみなさんから

毎回の授業や中間発表の時と比べてすごく発表が良くなったと感じています。頑張ったんだなっていうのが伝わってきて、とても楽しい発表会の時間でした。反省点もあったんじゃないかなと思いますが、完成させてやりきるっていうのがすごく大事だと思うので、そういった意味でも皆さん本当によく頑張っていて取り組んだなと感じています。

発表も大事だが、それよりも自分の気になることを調べて、主観だけでなく客観的なデータを用いて説明するという経験がすごく大事。そのプロセスを具体的に体験したということに誇りに思ってもらえたらと思います。今回の探究が今すぐではなくても、皆さん自身の人生のどこかで繋がるといいなと思っています。

(1年生)最初に比べてとてもいいものが出来上がっていて、文献だけでなく自分で調べていたので、とても良かったです。「こういうことがわかった」だけでなく「こういうことが考えられる」までいけるととてもいいと思います。(2年生)内容が素晴らしかったです。質疑応答の時間の補足の説明もして、よく準備していました。

(1年生)自分の考えをしっかりと持ち、その疑問を追求する力がついた生徒が多くなった。(2年生)自分の仮説プラス外部の人から得た情報を合わせて、いろんな視点から自分の考えをまとめる力がついた人が多かった。自分の意見を持つことで人生が豊かになる。皆さんも今後の人生で自分の意見を持つことを大切にしてほしい。

(1年生)目標に沿ってできていた。スライドは、会場に合わせて文字の大きさや太さを工夫するとよいと思います。(2年生)より深い探究ができていたと思います。幅広い探究目標で面白かったです。データや具体例が少ないと感じたので、もっと取り入れるとよいと感じました。スライドはとても凝っていて見やすかったです。

添削時よりもちゃんとした発表になっていたのが、すごく面白かったです。パワポで効果的に発表するのがとても上手。スクリプトをそのまま読むのではなく、聞き手に伝えることを意識して発表するともっとよい。テーマが豊富で興味深かった。SDGsを身近なものに関連付けて考えていたのがすごくいいなと思いました。

高校生らしい自分なりのテーマがすごく良かった。しののめ探究は発表する側も聞く側もできるのがすごくいい。をもっと深掘りして聞きたい疑問を投げかける、今度自分が発表するときにそれを還元するなどできるといいと思います。社会に出た時にも必要になってくる力だと思うので、そこをどんどん磨いていったらいいなと思います。

テーマを決め、考察するという形を一回経験しているのはとても貴重なことで、これからの財産になると思う。このプロセスの中で、調査した結果や効果を、いったん自分ごとにしてみることで、自分だったら効果を感じるのかな？自分はこういう取り組みしてたかな？と一回考えてみるのがいいのかなというふうに思いました。

自由奔放な発想のテーマで、成長が毎回アップデートされていて、すごく楽しかったです。スライドは要点をまとめて、スクリプトを作って自分で話すことができるともっといい発表になる。クリティカルシンキング(物事を批判的に見る力)が、このしののめ探究ですごく育つ。有効活用して自分の成長に繋げていってもらえたらと思います。

2年生になると学習が深くより引き込んで話をされていたと思います。1年生はこれからSDGsのほうにシフトして学習すると思いますが、SDGsってなんでもカバーしている、どんな分野でもSDGsと思われるが、カバーできていないものには、自分の身の回りに何があるだろうか。戦争や国際紛争など、そういったことを前にしたらSDGsの拘束力はなく、無力感に苛まれることもある。あるいは大地震で一気に街が壊れると、SDGsにできることはないと思える。しかし、例えば昨日のニュースで報道された「ウクライナの復興」。復興に向けて日本の技術が協力できることはある。一見無力なSDGsだが、協力できることはある。これからもSDGsに関して勉強を深めてほしい。ジェンダーのことも同じ。みなさんは、17の目標にとらわれることなく、富士東高校の持続可能な目標を作っていたらいいと思います。大学生は自分の感想やアドバイスをしっかり言ってくれた。このように県大生が関わり、触れ合うことで、自分が4年後、5年後にはこういう人になっているということ(ロールモデル)をイメージしてほしい。そういった目標に向かって残された高校生活を頑張りたい。漠然と大学に入りたくて勉強するのではなく、専門的に勉強している人の話は参考になるはず。ぜひ目標をしっかり立てて頑張りたいと思います。(谷 晃先生)

(2年生)昨年より良くなっていた。制限時間を活用して、説明も質疑応答もうまくできていた。(1年生)伝えるためには目を見て相手に伝えようというつもりで大きな声で話せたらもっとよかった。大学や社会に出て人に自分の伝えたいことを分かりやすくまとめて相手に伝えるというのは大切。これからも頑張りたいです。

添削した段階では問いと考察の対応が違っていたりしたのが、今日の発表では改善されていた。専門家へのアンケートもすごく良かった。問いや仮説を立てて調査、考察、発表とというのは、大学でとてもよく使うスキル。それが高校で経験できるのは貴重なもので、さらに成長していけたらいいんじゃないかと思っています。

直前の準備となってしまう、入れたい情報量も多く、まとめられるか心配だったのですが、本番までにスライドも思い通りのものに仕上げることができ、原稿を作っていたことでスムーズに発表することが出来ました。本番の発表では時間内に収めることができず、簡潔的に話すことになってしまったので、もう少し時間に余裕を持った発表内容にしておくことが出来たらよかったですと思います。(Wさん)

自分の発表を振り返って、前回と比べて問いと答えをはっきりと示すことができたり論文読解以外にも実際に施設へ訪問してインタビューをするしたりとより根拠を持って発表することができたと思う。

一方で原稿をずっと見すぎて聴いている人の方を見て発表することができなかつたり、聴者からの質問により詳しく答えられなかったので質問を想定してもっと深く学ぶ必要があると思った。(Eさん)

緊張してしまいいつも補足する場所を忘れていたり、普段より話すスピードが速くなってしまって5分も持たなくなりました。補足をしたり、参考にした論文についてをもっと語ったりすれば良かった。大学生が最後に言っていたように、考察が「～がわかった。」で終わってしまっていたので、「+～が考えられる。」と入れたらより良くなったと思う。来年はもっと準備に時間をかけてやりたい。(Iさん)

文字の大きさや、色、画像、情報をわかりやすく必要で大切なものだけに絞ってスライド完成出来た。喋り方の工夫をしてみんなで発表を完成させられたのは良かった。

外部と繋がるという点で、環境省にメールを送ったまま返ってこなくて情報を入れることができなかつたのでもう少し早めにそれをして返ってこなかった用にもう1つのつながり先を作れば良かったかなと思いました。(Yさん)

発表してみて、自分が1年間調べたことを胸を張って発表できたと思う。スライドや原稿作りに苦戦したが、自分の悔いのない発表が出来てよかった。

改善点としては、県大の方おっしゃって通り、もう少しスライドを改善するべきだと思った。私のスライドは文字が多くて見にくいと思うので、来年はスライドを工夫したい。(Iさん)

中間発表よりも探究の問いに対する答えを深めるためにインタビューに行きましたが、その内容について、自分の考察とともに詳しく説明することができたと思います。

また、質問についても自分の意見についてしっかり答えることが出来たと思います。改善点としては、時間が余ってしまったので、もう少し時間配分をちゃんと立てて、詳しい説明を加えるなどの工夫が必要だったと思います。(Kさん)

発表が終わると同時にちょうど時間が終わりました。中間発表では大幅に時間を越えてしまっていたので、いい調整ができたと思います。また、原稿だけでなく聞いてくれている人のほうに視線を向けることを意識しました。今回の自分の発表は言語についての「説明!」という感じになってしまっていた気がするので、2年生では聞いていて楽しい、飽きない探究発表をしたいと思いました。(Fさん)

2回目の発表で時間調整ができました。また、どうやったら見やすいスライドが作れるのかなど、先生や県大生の方からいただいたアドバイスを活かして良い発表ができました。質疑応答の時間で余ってしまったときに補足説明を言うことができて、より内容を具体的に理解してもらうことができたと思います。聞き手を見て話すことができたからより良い発表になったのではないかと思います。(Nさん)

早口になってしまったり声が小さくなってしまったりした。来年はもっとスライドを見やすく作れるようにしたい。1年生と2年生でたくさん発表を聞くことができた。今回学んだことを来年いかせるようにしたい。

最後の授業まではスライド完成させることができてなかったけど、完成させて無事に発表するとこまでできてよかった。(Oさん)

実際にALTの先生や国際科の先生に質問をしに行ったりして、自分たちが調べたことをより深く知ることが出来ました。最初は、具体的ではない、大きな問いや仮説を立ててしまい、なかなか自分たちが調べたいことを絞ることが出来なかったけど、色々な先生や県大生の方から話を聞いたり、他のグループからアドバイスを貰ったりして、具体的に絞られた問いや仮説を立てることが出来ました。(Mさん)

質疑応答は1問しかこなかったけれど、深く調べていたことでしっかりと答えられたのが良かったと思う。下線や太文字などを上手く使ってまとめられていてよかったと思う。

本当はぴったり終わるくらいに調節したつもりだったけれど、練習の時や班で発表した時よりも話のスピードがはやくなっていて15秒くらい余ってしまったところが改善していきたいところ。(Mさん)

中間発表の際に県大生の方にいただいた質問を参考にもう一度スライドの構成を考えたり、インタビューをしたことをわかりやすくまとめたことで自分たちも発表がしやすくなり考察も考えやすくなりました。スライドを増やしてしまったことで時間がかかりすぎてしまいオーバーしてしまった。結果と同時に考察も話していた部分を1つにまとめれば時間ぴったりになったと思います。(Iさん)